



# 日本の緑化事情 / ニッチなスペースに緑化を展開

屋上に緑化を施すというのは、70年代あたりから行われてきました。しかしそれらは屋上に「土盛り」をいえるもので造園ともいえるものでした。土壌も3500mmと深く、人工土の開発が進んだとはいえず、土そのものと水分の重さも含むと相当な重量となるために、既存建築物に後施工する場合には、非常に慎重を期し困難なものでした。

そこで、厚層に対して「薄層緑化」というものが用いられるようになりました。

弊社のVUS500も薄層屋上緑化のジャンルです。

近年法改正を受け、商業施設などではコミュニティスペースを設けることも多く、そこに緑化を施すことで、指定されている緑化面積を確保できることが多いのですが、集合住宅・特に都市部ではなかなか困難です。デベロッパも多く居住スペースにしたいというのが本音で、コミュニティスペースを大量に設置するとコスト高

となり、販売価格にも影響が出ます。また都心部では敷地に限りがあるためになかなか実施できないというジレンマもございいます。

そこで、目を付けたのが、駐車場や駐輪場の屋根の上に緑化を設けることです。駐輪場などでは構造上すぐ真下に居住者がおり、施工面も地表に近いので、緑化という機能でも安全なことながら、安全面にも十分な配慮が必要で、大日化成のVUS500では、専用レールで簡単に固定できます。またビル風の影響で飛散防止対策としても容易な設計となっております。

マンションなどの共有住宅だけではなく、工場緑化でも効果を発揮いたします。

駐輪場緑化。ともいえる薄層屋上緑化もVUS500をご検討ください。と思

**大日製品現場レポート** 大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。



今回は、大阪市内の某マンション現場で施工した「スカイコートW」の施工事例について紹介させていただきます。

現場は、クリアの塗装が施工されていましたが、何の材料が施工されているかは不明で、付着強度が確保できるか分からない状況でした。そこで付着力と施工後の意匠性の確認も兼ねて部分的にスカイコートWの試験施工を行う事になりました。

販売開始してから早5年が経つスカイコートWですが、皆様のおかげで毎年右肩上がりに出荷量も増えております。今後は、マンション改修等でタイル壁面の改修工事について御検討される際には是非「スカイコートW」を是非宜しく願います。

最後に、弊社ホームページでは「スカイコートW」以外にも様々な製品の紹介動画がご覧いただけます。是非一度ホームページも覗いて頂けたらと思います。

**DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.**

● 本社  
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13  
TEL : 06-6909-6755(代) / FAX : 06-6909-6702

● 東京支店  
〒105-0012 東京都港区芝大門 1-4-14 芝栄太楼ビル 5F  
TEL : 03-3436-3801(代) / FAX : 03-3436-3803

次号も  
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

# 映画で学ぶ 環境問題



**地球の限界**  
原題：Breaking Boundaries: The Science of Our Planet  
監督：ジョナサン・クレイ  
出演者：デビッド・アッテンボロー  
制作国：アメリカ合衆国  
上映：74分  
公開：2021

たった50年でこれまで1万年の間、変動の無かった地球環境を変えてしまった。スウェーデン出身の環境学者ヨハン・ロックスストロームはそう言い、変わってしまった要素を9つのカテゴリに分け、それぞれに限界点を設けてそれを超えると地球の崩壊が起きてしまうと、地球を守る指針として解説しています。

9つのカテゴリとは

- ・気候
- ・大地
- ・生物の多様化
- ・淡水
- ・栄養素
- ・海洋酸性化
- ・汚染物質

・エアロゾル  
・オゾン層

に別けられ、海洋酸性化・オゾン層の2つ以外は限界点を超えていないとされています。

それぞれの詳細については本編をご覧になって頂きたいと思うのですが、(Netflixでご覧になれます)地球温暖化をはじめ、ほとんど環境的悪化が進んでいるといわれている中、次の2項目について予断は許さないものの安全域であるとしています。

**海洋酸性化**  
先日行われたCOP21でも主題となった「二酸化炭素排出問題」ですが、排出された二酸化炭素の

三分の一程度は海で吸収されると言われます。この吸収によってpH値が変化して海洋酸性化が進むというのです。

本ドキュメンタリーでは過去数十年で世界の海は26%酸性に傾いたと伝えていますが、2億5000万年前の昔に発生した生物の大絶滅の原因はこの海洋酸性化ともいわれるのです。これは恐ろしい指標を定めることが困難で、現在のところはまだ安全域である(のでは?)とされているところなのです。

**オゾン層**  
これは記憶にも新しく、誰しも知っているのとは思いますが、1980年代にオゾンホールの破壊が発見され、宇宙からの紫外線を防衛できず人体への影響(皮膚癌など)が避けられないと、世界各国でフロンガス削減を中心に取り組みが行われ現在では安全域に戻りました。

そう、成功事例があるのです。映画のラストで「朝、目が覚めたら小惑星が地球に衝突すべくやってきている」と知ったら、全世界は全ての事をさておき、何らかの対策に真剣に及ぶことでしょうか。と言っています。

オゾン層の破壊を止めたのは、全世界が真剣に考えて実施した努力が結ばれたのです。

二酸化炭素排出問題をはじめとする環境悪化問題も真剣に取り組み、セーフティゾーンに戻る可能性が高いのです。

今日始めたからと言って明日解決す

早くとも30年レベルでの経過観察が必要でしょう。科学的には判明しているから、その数を出回っている量を増やすこと、母とは必至です。

オゾンホールは、企業での開発や代替品への切り替えが必須で、個人個人としては直接できること、林が皆無に近づくまで待つことはできません。一人一人の積み重ねが実を結んでいくのです。

たつたこれくらいの事でも全人類が行えば相当な量になります。セーフティゾーンに戻らなければなりません。日か来るのでは無いでしょうか。

本編は吹き替え版ですので、字幕の苦手な方も無理なくご覧判りやすく映像化されています。是非ご家族でご覧になられては

20年先は見越して少しづつ努力することが実を結ぶのです。しかし二酸化炭素排出量を削減されたものが消えるわけではありません。

それを解決方向に導くのが植林です。植物は二酸化炭素を吸収して、これに代わって酸素を放出します。また、木が成長する期間が掛かります。